

お手軽簡単に電子書籍を

無料で出版する方法



アナタの趣味や特技を生かして
本を出版してみませんか
充実した人生の一助として
お手軽簡単に無料で出版できる
電子書籍の作り方を伝授します

初めましてこの度は「**お手軽簡単に電子書籍が無料で
できる方法**」に興味を持って頂きありがとうございます
す

人生いろいろと経験してくるとこれまでの経験を生か
して本を出版してみようかなと言う人は結構いますね

この記事をご覧になっているあなたもそういうお一人ではないかと思います。

私の周りにも会社の同期だった人や学生時代の友人が本を出版しています

本屋に並んでいる紙の本なので出版費はかなりかかったようです

私は出版した本を進呈してもらい読んでみました、作品は小説だったのですが面白く内容も充実していて大変すばらしかったので本を出版するってすごいなあと感心した次第です。

しかし本を出版したい気持ちはあるものの先ず出版費ってどのくらいかかるのか聞いてみましたらかなりの出版費がかかってしまうので出版は諦めていました

しかしながら

初心者でも簡単に安く本を出版する方法があれば本の出版にチャレンジしてみようかなと思いはずっと持っていました

そんなおり電子書籍で簡単にしかも無料でお手軽に本を出版できることを知りました

え！電子書籍を無料で出版できると知ったときは本当にそんなことが出来るか半信半疑でした。

実は私は定年を機会に興味がありました「江戸の歴史と文化」について図書館に行って調べたりグーグルで調べたりして興味がある場所を訪ねて歩いているうちに定年後のライフワークとして取り組んでみようと思ふようになりました。

東京で生まれて3代続くと一応江戸っ子といわれるようですが私も江戸っ子の端くれになります、社会人になって東京を離れて大阪勤務になりました

元々学生時代から一人旅が好きで北海道一周や東北一周、近畿一周など全国の名所旧跡を訪ねて回りました
私が入社した会社は転勤が多くまさに転勤族を絵にかいたような会社で大阪からスタートして九州、四国、神奈川、宮城に勤務し最後は生まれ故郷の東京に戻ってきました。

全国転勤の折その土地・土地の歴史や文化や観光名所や美味しい食事処を調べたり地元の人に穴場を聞いてみたりしてそのような場所を訪ねる習慣がつきまして楽しみの一つにもなりました。

東京に戻った時に今度は「江戸東京の歴史巡り」を始めることになりました。

東京に戻ってから15年して定年になりました、今度は「江戸東京の歴史と文化」をテーマにライフワークとして活動することになりました。

図書館に行って調べた資料と江戸の地図、デジカメをぶら下げていろいろなところを巡り記事を作り最初はメールで知り合いに送信していました、やがてだんだん送信する人数も増えましたので今度はブログを開設しました、年数も経過してかなりブログの記事もたまったころ電子書籍で出版できることを知りました、そして数年前に電子書籍を無料で出版できる事が分かりましたので今度は電子書籍出版にとりかかりました。

始めてみると考えていたことより元々パソコンにあまり詳しくなかったので出版するまで意外に時間もかかり手こずってしまいました。何とか電子書籍を出版することが出来ました、完成した時には自分でも充実感に溢れていたことを覚えています。

出版して知人や友人に電子書籍を見てもらいましたところ何と大変好評でこれまで経験した事がないような作家になったような気分になりました、その後時には

学友や知人から江戸の歴史の案内を頼まれガイドのまね事もやるようになりました

あなたも是非私と同じように本の出版に興味がある方には心からお勧めしたく私の経験を通して今度はあなたに私が悪戦苦闘して電子書籍を作成したような経験をせずに簡単に電子書籍を出版できる方法をお伝えすることにしました。

完成の暁にはきっとあなたも私と同じようにこれまでの人生と変わった経験を味わえるものと確信しています。

そこで出版に当たり

- 出版したい人はどんな悩みを抱えているのか
- 本を出版した場合どのような変化があったのか
- 本を出版したことによるメリット
- 具体的に出版した本はどんなものなのか

●出版後どのようなことが起こったか

●紙の本と電子書籍の比較

●知人に電子書籍の作り方を教えた結果は？

それぞれの項目について説明していききたいと思います

○出版したい人はどんな悩みを抱え

ているのか

本を出版するには文章を書いて出版会社に依頼すれば一番手っ取り早い事はわかりますね、しかしこの方法では出版にかなり費用がかかってしまいます、ましてカラー版となればさらに費用がかさみます

出版する人の最大の悩みは莫大な費用がかかってしまうことですその最大の悩みを解消してくれるのが電子書籍で本を出版することになります、しかも完全無料で出版できるなんて本当に夢のようです

○本を出版した場合どのような変化 があったのか

ここでは私自身が経験したことを紹介します

定年後の仕事として週3日仕事をしていますが広報の仕事で多くの人と会う機会があります

話の中で歴史に興味がある方に私が作った電子書籍をスマホで見せて紹介しますと相手の方はスマホの書籍を見て感心する方がほとんどです、といいますのは大概の人は自分で書籍を作った経験がない人がほとんどですので本を出版することはすごいなと感じてしまうようです。

○本を出版したことによるメリット

本を出版することのメリットとして私自身の経験についての感想です

本を出版すると相手の方は何となく一目置いてくれるようになります、本を出版するという事は信用力も高まり話もスムーズになりより一層親しくなっていきます。

本を出版することは一般に周りにはほとんどいけませんので自然とそのような雰囲気になっていくのだと思います、そうすると自分自身の充実感が湧き出てコミュニケーションが取りやすくなり会話も楽しくなり仕事もこれまでと違ってこちらのペースで順調にすすんでいくようになりました。

そんなことでデジカメや旅行とか美術に興味がある方には電子書籍の出版を勧めています

○具体的に出版した本のどんなものなのか

私が出版した電子書籍ですこれは電子書籍の表紙で

江戸ぶらり足袋



太田 はじめ

す、写真も私がデジ
カメで撮った写真を
表紙に載せています
イメージをつかんで
いただいたでしょう
か

太田はじめはペンネ
ームです

自分でも言うのはおこがましいのですがなかなか大変
好評で多くの人に興味も持ってもらえました

記事は下記のような感じですがこちらも参考にしてい
ただければより一層イメージがわいてくると思います

第一話をご紹介します

第1話 太田道灌-山吹の花は咲けども

第1話は室町時代までさかのぼりますが、やはり江戸城を築城し、今日でも道灌山、道灌通、道灌かがり(城の堀)等で親しみ深い太田道灌をとりあげてみました。

江戸城を築いた太田道灌の逸話

太田道灌像



鷹狩の途中急に雨に

降られ蓑を借りようと近くのみすぼらしい農家に立ち

寄ったところ家の中から年の端も行かない少女が出てきて黄色く咲いた山吹の一枝を無言のまま差し出したのですが道灌はその意味がわからず花が欲しいのではないと怒ってそのまま館に帰りその話を家臣に話したところ、それは「七重八重花は咲けども山吹の実の(蓑)一つだに、なきぞ悲しき」という後拾遺和歌集の古歌にたとえたのでしょう[家が貧しく蓑さえ持ち合わせがない]とゆかしく断ったのだと教えられる。武勇に優れた道灌でありましたが百姓の娘は貧しくともきちんと教養を身につけているのに反し、自分はなんと無学であったことかと恥じ以来大いに発奮し歌人としても名をはせたと語り伝えられています。

(後世の作り話ではありますが文・武両道に優れた道灌を後々忘れないように逆説的に作ったものと思われる)

* 後拾遺和歌集：応徳3年(1086年)完成の勅撰和歌集

太田道灌の銅像は彫刻家朝倉文夫氏の代表作で東京有楽町の東京国際フォーラムのガラスホール棟に鷹狩のいでたちで江戸城に向かった立像があります。

朝倉文夫：明治から昭和の彫刻家で東洋のロダンと称されました。

山吹の里

この逸話に出てくる山吹の里は現在の早稲田周辺の山吹町から都電荒川線面影橋付近を指しているようです。

道灌は幼少のころから鎌倉五山で学問を研鑽し和歌や漢詩にも長じ五山の詩僧・文化人らと親しく交わっていたことから無学であったとはまったく反対のはなし

寛正6年(1465年)に上洛した道灌は拝謁した室町幕府8代将軍足利義政から「武蔵野の風景はどのようなものか」と問われ、[わが庵(江戸城)は松原つづき海近く、富士の高嶺を軒端にぞ見る]の歌で応えたと言

われています。武勇に優れ声望もあった道灌でありましたが、あまりにも立派な江戸城を作ったことがかえって同族の嫉妬の原因となり謀反ありと疑われ主君である関東管領扇谷上杉定正に騙され酒宴の招きをうけ相模国粕屋(神奈川県伊勢原市)で風呂に入り終わったとき襲われ 55 歳の非業の死をとげてしまいました)

* これぞ道灌

室町幕府 8 代将軍足利義政は一匹の猿を飼っていましたが、この猿は見知らぬ人を見れば飛びつき引掻くという乱暴な猿でした、多くの武将がこの猿の被害に遭っていましたが将軍の手前我慢するしかありませんでした、あるとき道灌は主君上杉定正の名代として上洛し義政のもとに伺候することになりました、義政や近臣達は猿が名高い道灌を引掻きびっくりする姿を見ようと待ち構えていました、道灌がはいってくるやいなや、猿が身構えたとき道灌ははったと猿をにらみつけた、すると猿はとたんに縮こまり震えだし、道灌の様

子を見つつ何度もお辞儀をする始末、これを見た義政はじめ近臣はびっくりしたと同時に「さすが道灌」皆は感嘆し更に一目置くようになったとのことでした。

実は道灌はあらかじめいたずら猿のことを聞いており、この事があることを予測し、密かに猿の子守に賄賂を贈り猿を借り受け殴りつけた後お辞儀をすると胡桃をやるといった方法で手なずけていました、つまり猿は道灌を見て怯え胡桃が欲しくてお辞儀をしていたという訳です。後にこのことを知った人々は道灌の知恵に感心したのであります。どこまでが本当かわかりませんがこれに近い事があったものと思われれます。

*** 歴史の奇遇**

実は道灌と北条早雲は 1432 年同年の生まれです、早雲がまだ伊勢新九郎と名乗っていたときに道灌を訪ねて江戸城にやってきますが、城の堅固さと壮大さに度肝を抜かれこの人物とは戦っても勝ち目はないと悟っ

たようであります。道灌が悲運にも殺された後早雲はメキメキ頭角を現し後北条 100 年を築いたのはご存知のとおりです。

(早雲は 88 まで生きたと言われていましたが最近の研究ではそこまで生きていなかったようです)

* 当時の江戸は現在の日比谷公園から東京駅あたりまで一面の砂浜で利根川や荒川もここで東京湾に流れ込んでいましたが「江戸」の地名もこうした大河(江)の入り口(戸)からでているという説が一般的のようであります。

* 江戸前

もともと今の築地から鉄砲洲にかけてとれたウナギを指したようであります。有名な蒲焼屋が銀座周辺に集まったのはウナギの漁場がすぐそばにあったからでしょう、今は銀座界隈で鰻屋は少なくなりましたが銀座の竹葉亭は江戸末期の慶応 2 年に創業の老舗です、私

も何回か足を運んで鰻をいただきましたが大変美味しかったです、又江戸湾でとれた魚介類をねたにして鮓にしたものを江戸っ子は江戸前(江戸城の前の江戸湾)とよぶようになったと思われます。大分の城下カレーも同様に呼ばれています。

江戸城



徳川家康は征夷大將軍に任命されると大規模な江戸城築城に取りかかり、駿河台付近の丘陵がけずりとられ武家屋敷になったのでありますが、この削り取られた土地で埋め立てられたのが、日本橋、京橋

銀座、日比谷などであります、駿河台には大久保彦左衛門屋敷跡があります。

皇居東御苑(江戸城)は一般公開されており、大手門、平河門、北桔橋門から入場できます。御苑内では天守閣跡、松の廊下跡、大奥跡等江戸の歴史にふれることができます、たまには江戸城内をぶらりといかがですか

(残念なことに江戸城は明暦の大火で本丸はじめかなりの部分が燃えてしまいました)

お濠



松の廊下



天守閣跡



百人番屋



東御苑の見学は予約申し込みはいりませんが伏見櫓
宮殿東庭等の見学コースは予約申し込みとなります。

一般参賀(新年・天皇誕生日)には宮殿東庭に特別はい
れますが見学等はできませんので下記参観申し込みを
されると良いと思います。

皇居内参観のご案内(無料)

桔梗門から入門し、休所でビデオご覧いただきその後
宮殿東庭、二重橋等案内されます。

(所要時間約75分)1名から300名までの申し込み
できます。先ず電話にて予約し許可書を発行してもら
います。

インターネットでも申し込み及び手続きができます

受付期間 参観希望日の1ヶ月前の月の1日からとなります

申込先 宮内庁管理課参観係 電話 03-3213-1111

〒100-8111 (住所不要)

ここまでが第一話になります

全体では26話になります

自分自身で歩いた場所もデジカメで撮ってカラー写真もふんだんに載せているので見た目も印象に残る点が良いかと思えます

○出版後どのようなことが起きたか

電子書籍を出版して友人に本を見てもらいましたがかなり好評でしてその後案内役を頼まれ江戸の歴史と文化を定例的に歩いてコースの案内をして喜ばれています、友人の中には神社やお寺の御朱印を集めていて御

朱印がたまっていくので次の予定を楽しみにしていたりたまには江戸の老舗の食事処に案内したりしますので話がはずみます、コース巡りの後は飲み会になるのが定番です

また知り合いの専門学校からやはり歴史案内を頼まれたりして先生や生徒さんに喜んでもらえるのは本を出版したからこそその経験といえましょう、また私自身の今後の予定として地元のコミュニティスクールで江戸の歴史講座とコース歩きを始めることを計画しています。

それでは紙の本と電子書籍の制作の違いについて比較してみます。

○電子書籍と紙の本との比較

これまで何度も説明していますが電子書籍と紙の本の比較をしてみます

電子書籍

紙の本

費用	無料	莫大な費用がかかる
作りやすさ	簡単	打ち合わせが必要
完成まで	早い	日にちがかかる
初心者	○	× (条件が分りづらい)
安心感	○	× (できるまでが不安)

いかがでしょうか、費用面ではこれまで何度も説明していますが特に初心者を取り組めるメリットがお判りいただけたことと思います。

そこで本当に簡単お手軽に無料で電子書籍が出版できるか知人に実際に試してもらいました

知人に私が作ったやり方で手順を教えてあげましたところ 7日間で電子本を作ることができました、何か月もかかったのではなくたった7日で出来たのです、試

しに作った本なので3ページと短いものでしたが基本
が分かれば後はページ数を増やせば良いだけです、
写真は表紙と本文にも入れて作成してもらいましたの
で誰でも簡単にできる事は証明できました。

これまでの説明で電子書籍の出版がいかにお手軽簡単
にできるか十分に理解できたことと思います。

しかしそれでもまだ不安がある方にはQ & Aを準備し
ましたので参考にしてください

Q & A

Q : PCは必要ですか

A 作業はPCでしますのでPCは必要です

Q : あまりPCは自信がありませんワ

ードぐらいの知識でも大丈夫ですか

A : 心配ありません、ワードが出来れば全く問題ありません

Q : 本を作るのにテンプレートのよう

なものがありますか

A : はい本の作成にはテンプレートに基づき作成していきますので安心して下さい

Q : 手順書のようなものはありますか

A : はい手順書を用意していますので手順書に沿って作業を進めてください

Q : 商品グレードは分かりますか

A : 前述した「江戸ぶらり足袋」表紙の感じと第一話を再度ご覧ください

Q : 60 才以上でも取り組むことがで

きますか

A : 60 才以上の人でも全く問題ありません、むしろ高年令の方のほうが人生経験豊かなので色々な経験を生かして様々なジャンルの本を作成できるのではないのでしょうか、1 冊目が出来れば 2 冊目 3 冊目にも是非挑戦してください

私自身既に 70 才を超えています

Q:実績はありますか

A : 前述したとおり知人に作り方の手順を教えましたところ僅か 7 日で本を作成できました、教材の通りやっていたらきっと作成できます

Q：サポートはしてもらえますか

A：はいサポートは致します

本教材はお手軽簡単に電子書籍ができる仕組みになっていますので特段サポートは必要ないかと思われませんが分からないことがあればメールにてご連絡くだされば5営業日以内にメールにて回答いたしますのでご安心ください(サポート期間や回数に制限はありません)

これまでの説明でお手軽簡単にしか

も無料で電子書籍を作成することが

お分かりになったでしょうか

電子書籍の作成に興味を持って頂き本教材の購入を検討していただく方にお知らせです。

申し込みに当たり数量を限定いたし

ます

本教材を申し込みに当たり先行者の利益を守る為に

100名様限定価格といたします

私自身簡単に電子書籍を出版することが出来ました、
又知人にも試してもらいましたが簡単に出版することが証明されましたが更に多くの方が簡単に出版できることを証明したいと思いますので今回は100名様限定価格にすることにしました、

当書籍購入後趣味を広げていただき二冊目三冊目の本を出版していただければ私としても出版した甲斐があります。

そのほかに出版に際し PC で作成していきますがプリンターの使用がかなり増えてきます、インク代もかさねられますのでインク代を安く買う方法などの情報をメールにてお届けいたします。

又電子書籍作成に当たりデジカメ、スマホで撮った写真のスキャンする方法など制作にあたり便利な方法などをメールにてお知らせいたします。

ここまでの説明で十分ご理解いただけたことと思います

では本教材の定価はいくらになるのか お知らせです

電子書籍をお手軽簡単に無料で出版する方法

定価 25000 円 先行者利益とし

て 100 名様限定で特別価格にいたし

ております

分割も 1 回～24 回まで OK です

24 回分割の場合ですと 100 名様特典の価格では 1 か月では約 1042 円です 1 日換算では約 35 円と僅かな金額です

さあ！ あなたの夢を実現しませんか

ここで大事な連絡がございます

ここまでの説明で電子書籍を出版するのに充分理解できた、しかしそれでもいざ購入となると本当に自分にも教材通りやってもできるか不安な方もいるかと思えます、私もこれまでいくつかの情報教材を購入してき

ましたがやはりいざ教材を購入するとなると本当に自分も教材通りやってできるか不安になります、あなたも当然そのような不安をお持ちになるのは分かります

そこで

そんな方にこの教材を購入してやってみたが万が一

電子書籍ができなかった場合、**全額返金を保**

証することにいたしました

(但し本当にとりかかった証としてどの点がわからなかったかについての報告をメールでして頂き当方より解決方法をメールにて連絡しそれでも解決できないようであれば全額返金させていただきます)

なぜ全額保証までするかについて説明します

この教材はどなたが取り組んでも教材通りやっていたければきっと作成できる自信があるからです。

私が自信をもって作成した教材です、自信のあかしとして全額保証を付けることにしました。

保証期間は6か月間(180日)とします

上記180日以外に実践期間を7日間設けますので実際は受付から187日になります。

メールにて申請してください。

購入されるアナタには何のリスクもないはず

定価 25000円 (税込み)

特典 先着100名様 特別価格

電子書籍に取り組むのは

今です



オンライン申込はこちら

<https://www.infotop.jp/order.php?i id=90656>

商品(マニュアル編)についてのご案内

PDF 39P

目次

第一章 出版の動機について

第二章 電子書籍の魅力とは

第三章 具体的に制作の手順とは

第四章 電子書籍の販売方法

第五章 電子書籍出版の後展開